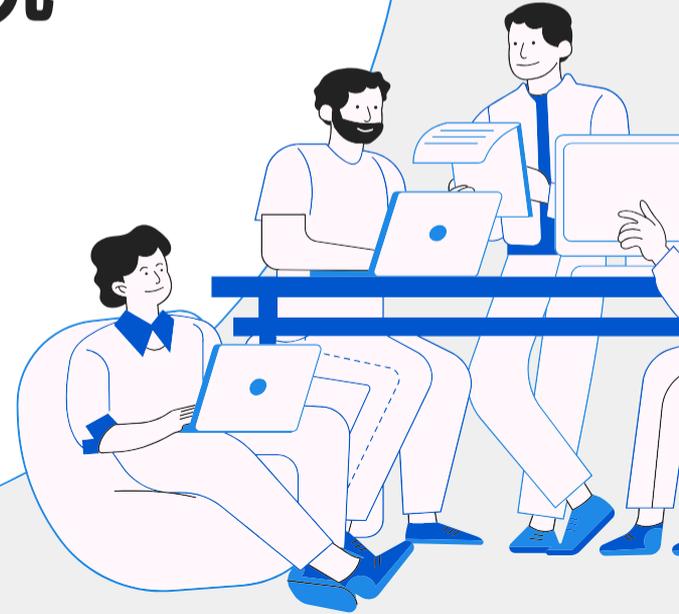
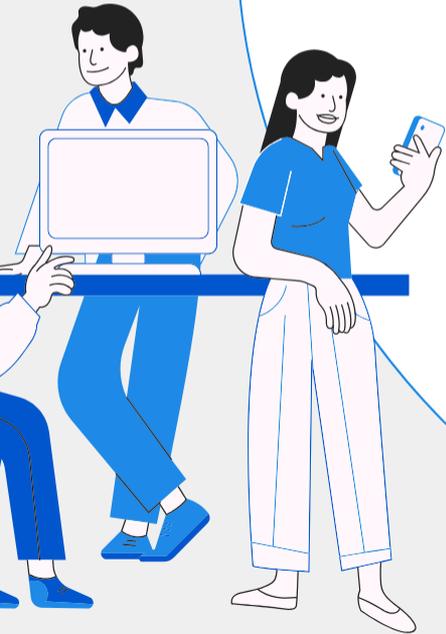


発注者の疑問を解説

# 初心者が気になる疑問を FAQ形式で解説

発注初心者必見!



# こんな悩みありませんか？



## 何から始めればいいのか？

システム開発を初めて発注するけど、どこから手を付ければいいのかわからない



## 費用はどのくらい？

開発費用の相場がわからず、予算をどう組めばいいか不安



## 期間はどのくらい？

開発にどれくらいの時間がかかるのか見当がつかない



## 信頼できる会社は？

どの開発会社に依頼すれば安心なのかわからない

# 本日の内容

1 システム開発とは？

2 開発の基本的な流れ

3 期間と費用の目安

4 契約時の重要ポイント

5 要件定義の重要性

6 運用・保守の考え方

7 成功事例紹介

8 まとめ：成功のポイント

9 お問い合わせ

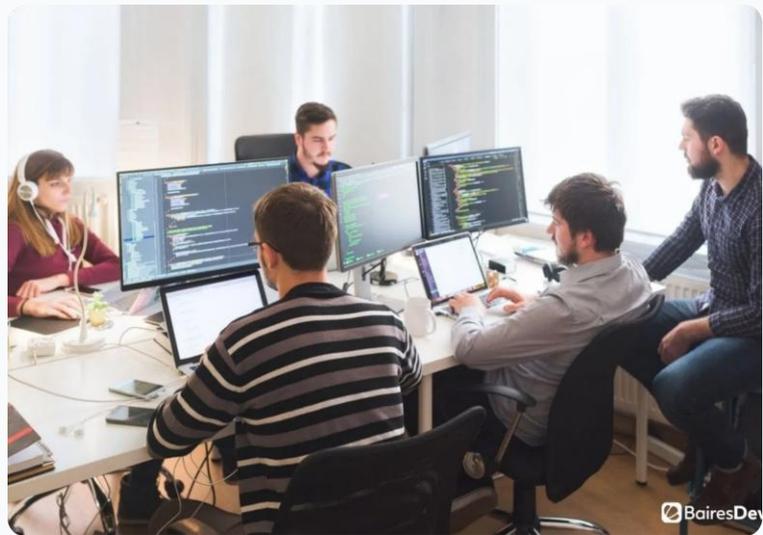
# システム開発とは？

## システム開発の定義

業務の効率化や新しいサービスの提供を目的に、コンピューター上で動作するプログラムやアプリケーションを作成すること

## 開発方法の種類

-  **スクラッチ開発**：ゼロからオリジナルのシステムを構築する方法。自社の要件にぴったり合わせた開発が可能
-  **パッケージ導入**：既存のソフトウェアをカスタマイズして利用する方法。開発期間やコストを抑えられる
-  **ウォーターフォール型**：工程を順番に完了させていく手法。大規模開発に向いている
-  **アジャイル型**：短いサイクルで開発とテストを繰り返す手法。変化に柔軟に対応しやすい



# システム開発の基本的な流れ

1

## 要件定義

どのようなシステムを作りたいのか目的や必要な機能を明確にします。現在の業務課題やユーザーのニーズを洗い出します。

2

## 設計

システムの構造や画面レイアウト、データベース設計、処理の流れなどを詳細に決定します。

3

## 開発（実装）

設計に基づいて実際にプログラミングを行います。フロントエンドやバックエンドのコードを作成します。

4

## テスト

開発したシステムが意図した通り正しく動くか検証します。単体テスト、結合テスト、システムテストを段階的に実施します。

5

## 運用

テストをクリアしたら本番環境でシステムを稼働させます。トラブル対応や機能改善のための保守作業も発生します。



プログラミング作業



チーム会議



開発環境

# 開発期間と費用の目安

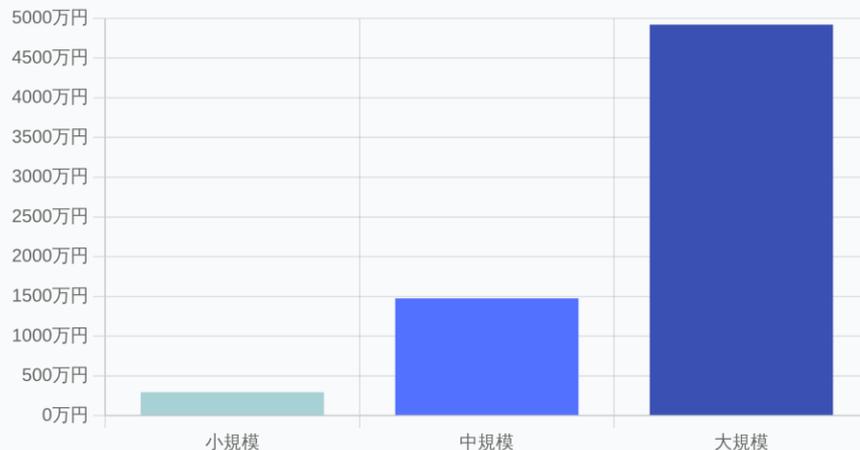
## 🕒 開発期間の目安

小規模	約1~3ヶ月（簡易管理ツール、小規模Webアプリなど）
中規模	約3~6ヶ月（ECサイト、予約管理システムなど）
大規模	6ヶ月~1年以上（基幹システム、大企業向け業務システムなど）

## 💡 期間短縮のコツ

アジャイル開発	短いスプリントで開発・テストを繰り返し、早期リリース
MVP方式	最小限の機能から始め、運用しながら機能追加
既存活用	クラウドサービスやAPIを活用し、開発工数を削減

## 📊 費用相場



## 🔍 費用変動要因

規模	開発期間・人数が増えるほど費用増加
機能	高度な機能ほど開発工数・費用が増加
開発体制	大手SIer > 中小開発会社 > フリーランス

# 契約時の重要ポイント

©

## 知的財産権（著作権）の帰属

完成したシステムの権利は誰が持つのか明確に定めておく。自社での改変や再利用を考慮した契約内容にする。

≡

## 支払い条件

工程の節目ごとの分割払い（マイルストーン払い）を採用。追加開発や仕様変更時の費用精算方法も事前に決める。

📅

## 納品スケジュールの明確化

いつまでに何を納品するか具体的に明記。納期遅延時の対応についても取り決めておく。



# 要件定義の重要性

## 📋 必要な機能を洗い出すには

🔍 現行業務の課題を洗い出す

📁 必須機能と追加機能に分ける

🚀 MVP（必要最小限の製品）から始める

👥 関係者と認識を合わせる

### ⚠️ 要件が曖昧だとどうなる？

- 追加開発によるコスト増
- 納期の遅延
- 手戻りによる工数増加
- 関係者との調整に時間を要する

### 💡 ポイント

最初にゴールを明確に描くことが  
後工程での手戻りを防ぐ鍵

# 運用・保守の考え方

## 🔧 運用で押さえるべきポイント

### 🔍 バグ対応

実際の運用で見つかる不具合に対応する窓口を用意。契約時に無償バグ修正期間を設けておく心安心。

### ➕ 機能追加・改善

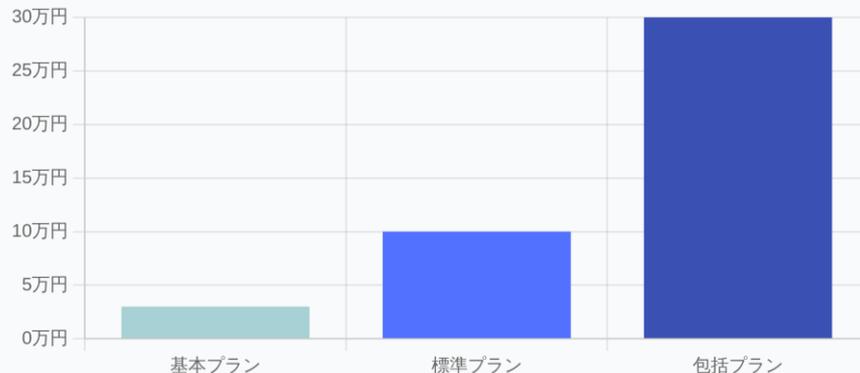
システム利用中に出てくる新機能の要望に対応。システム全体への影響を考慮した上で実装。

### 🖥️ サーバー管理

システムを安定稼働させるためのサーバー監視、バックアップ、負荷対応などを実施。

システムは作って終わりではなく  
リリース後の運用が本番

## 🛡️ 保守契約について



### 📄 契約範囲

バグ修正のみの基本プランから、小規模機能追加まで含めた包括的なプランまで様々。

### 🕒 対応時間

平日営業時間内のみ対応から、24時間体制の対応まで。システムの重要度に応じて選択。

### 💰 費用相場

月額数万円～数十万円程度。システム規模や契約内容によって変動。

# 成功事例紹介



## 日清食品株式会社

### 紙の承認手続きをシステム化

社内稟議（承認）のプロセスに20日以上かかっていた状況を改善するため、紙の申請書を廃止し、ワークフローシステムを導入。トップ主導でDX（デジタル化）の方針を打ち出し、開発パートナーと協力して既存業務を徹底的に洗い直した。

#### ✓ 導入効果

- 決裁業務が約20営業日から4営業日に短縮
- 紙資料の削減によるコストカット
- 業務効率の劇的な向上



## 株式会社ワークマン

### 在庫情報を一元化して顧客サービス向上

全国の店舗ごとに商品在庫を管理していたため、ネット通販で注文があった際に近隣店舗から商品を融通することができず、欠品や配送遅延が課題となっていた。そこで全店舗の在庫データを共有する仮想倉庫システムを開発・導入。

#### ✓ 導入効果

- 店舗間の在庫融通が可能に
- 最短当日受け取りサービスの実現
- 自社ECサービスの顧客満足度向上

# まとめ：成功のポイント

システム開発発注を成功させるために押さえておきたい3つのポイント



## 要件定義を徹底する

「何を作りたいのか」を明確にし、必須機能と追加機能を分ける。MVPの考え方を取り入れ、最初は必要最小限の機能から始める。



## 契約内容を明確にする

知的財産権の帰属、支払い条件、納品スケジュールを明確に契約書に記載。曖昧さを残さず、後々のトラブルを防止する。



## コミュニケーションを密に

定期的な進捗確認ミーティングを設定し、開発会社と二人三脚で進める。課題や仕様変更は早めに共有・対応する。

※数値・固有名詞はダミーです。要確認

# お問い合わせ

## 株式会社ソフィエイト / Sophiate Inc.

 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町1番12号

 代表取締役：川島碩介

 [contact@sophiate.co.jp](mailto:contact@sophiate.co.jp)

 <https://sophiate.co.jp/>

 ご相談・お見積りは無料です。お気軽にご連絡ください。

※数値・固有名詞はダミーです。要確認